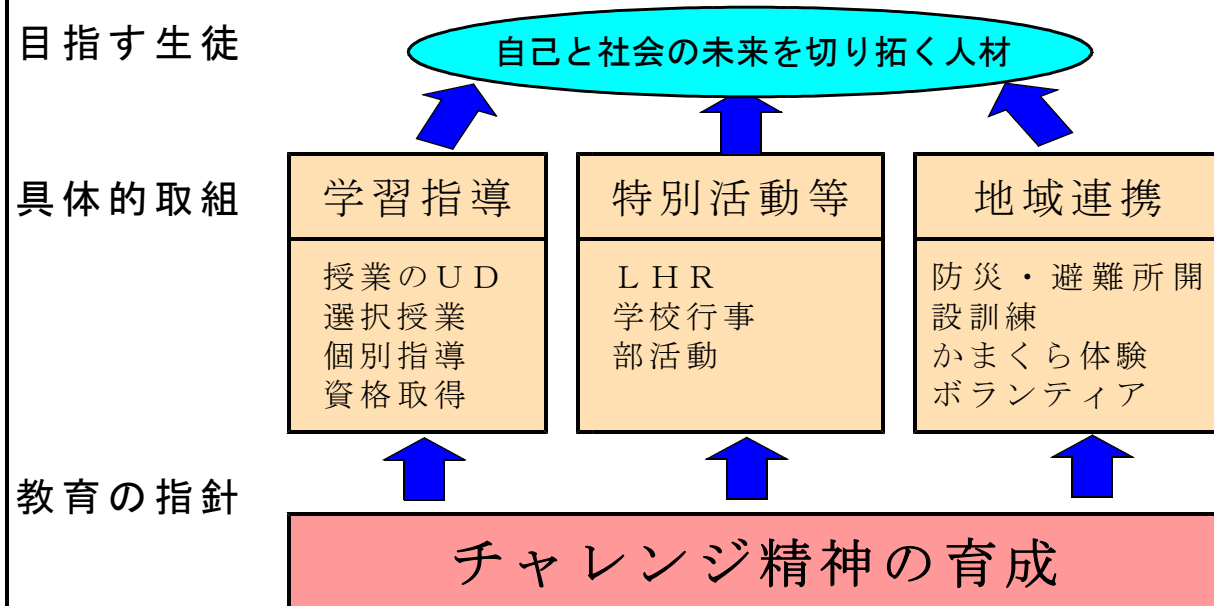


青雲館の教育 イメージ全体図



青雲館が目指す5年後の姿（具体的な目標）

1 学校の現状や課題

○現状

青雲館は、働きながら学ぶ生徒やさまざまな学習歴をもつ生徒たちのために、2部制（Ⅰ部、Ⅱ部）、単位制、2学期制などを取り入れて学びの場を提供している定時制高校です。入学後は少人数のクラス編成の中で、多くの生徒が元気に学校生活を送っています。また、多くの生徒が2部制を活用して3年間での卒業を目指す三修制を選択し、横手高校の卒業生になっています。

青雲館はさらに、中学生を対象としたフリースクールの空間「スペース・イオよこて」などの機能をもつとともに、秋田明德館高校通信制の協力校としてスクーリングを行う県南地区における定時制基幹校としても大きな役割を担っています。また、令和3年度から通級指導教室の実施を予定しています。

青雲館は、授業や部活動などの学校で行う教育活動に加え、インターンシップ、職場見学、ボランティアなどの校外での諸活動を通じて、生徒の総合的な人間力を育み、将来の社会の形成者を育成する使命を果たそうと、効果的な指導法の確立に努めています。

<部活動の実績>

H28 全国定通総体：剣道部・卓球部・柔道部出場、剣道男子個人準優勝

H29 全国定通総体：剣道部・卓球部・柔道部出場

H30 全国定通総体：バドミントン部・剣道部・卓球部・柔道部・陸上部出場

R 1 全国定通総体：バドミントン部・バスケットボール部・剣道部・卓球部・柔道部
陸上部出場、卓球女子団体準優勝

<国公立大学実績>

H27 山形大学、福島大学、鳥取環境大学 H30 山梨県立大学

<卒業生>

三修卒業生 H28 11名 H29 12名 H30 14名 R1 16名 R2 14名

四修卒業生 H28 13名 H29 10名 H30 14名 R1 12名 R2 12名

○課題

本校は様々な事情で学校を続けることが困難な生徒に対しても、一人ひとりが自分のペースで勉強できるよう支援しています。また、学び直すために転編入する生徒のためにも、授業は基本的な内容が中心となっています。国公立大学への進学希望者もおり、進路志望に応じた指導体制の確立を目指しています。

2 学校を取り巻く将来の状況の予測

県南地区の中学卒業生数は減少（5年間で約270名）しますが、第7次高等学校総合整備計画後期計画に示されているように、多様な学びを支援する定時制課程への理解が広がれば、青雲館への教育ニーズが着実に高まると確信しています。青雲館は、今後も一人ひとりを大切に育て、社会へと結びつける使命を果たして行く必要があります。

3 目指す生徒像及び学校像

○重点指導目標

一人ひとりの成長の支援と社会性の育成

～見守る温かい目と社会につながるための指導～

実践指針

すべての教育活動において「チャレンジ精神の育成」を念頭に置き、これを通して、先行き不透明な時代に挑戦し、自己と社会の未来を切り拓く人材の育成を図り、人格の完成と進路目標の達成を含めた自己実現を支援します。

○具体的な手立て ～社会で必要とされる資質・能力の育成～

(1) 規律ある生活

端正な服装、爽やかな挨拶、公共ルールの遵守等も含めて、規律ある生活を通して地域や社会に信頼される人材の育成を図ります。

(2) 確かな学力の育成

コミュニケーション力、表現力等の多様な能力を活用する授業や活動によって、基礎基本の定着とともに各種資格・検定試験に合格できる学力を育成します。

(3) 人間尊重の精神及び公共の精神の涵養

学校生活のあらゆる場面を通して、生命や人権の大切さを教え、倫理観や規範意識を涵養し、多様な価値観を認める人間尊重の精神、社会の一員として求められる公共の精神の育成を図ります。

(4) 自己肯定感・自己有用感の涵養

避難所開設訓練やボランティア活動など、多くの方々と協力し、社会に貢献する活動を通して、自己肯定感、自己有用感を育みます。また、社会の一員としての自覚を高め、社会性、協調性、社会に貢献する心を育成します。

(5) 社会性の育成

インターンシップやアルバイトなど、社会集団の一員として活動する機会を通して、謙虚な姿勢で広く社会に学ぶ心、公共に資する心を育みます。

(6) 自立支援

関係各機関と連携し、生徒理解のための情報収集や対応にあたっての共通理解を図り、生徒個々の自立を支援します。

4 5年間で達成を目指す具体的目標

- ・進路志望達成率100%を目指します。
就職内定率 H28 100% H29 100% H30 94.4% R1 94.1% R2 92.3%
進学合格率 H28 100% H29 100% H30 100% R1 90% R2 100%
- ・各種検定や資格の取得を支援し、合格率の向上を目指します。
- ・全県優勝の部活動、3つ以上を目指します。

具体的な取組等

学 習 指 導	基礎学力の定着	学び直しとして、国語・数学・英語の基礎講座を設けます。
	授業のUD	ユニバーサルデザイン(UD)を意識した授業を行います。学び合い、教え合い、話し合いの場面を意識した授業展開の工夫を行います。
	選択授業	全員が受ける授業もありますが、興味・関心や進路希望に応じて選択できる授業が26講座あります。選択する前に履修説明会を行い、各科目がどのような授業か説明します。
	個別指導の充実	進路目標、資格取得に応じた個別指導を行います。
	資格取得の奨励	青雲館では、資格取得(漢字検定、英語検定、簿記実務検定、情報処理検定、ビジネス文書実務検定、珠算電卓検定、商業経済検定、危険物取扱者、等)を奨励し、難易度によっては卒業に必要な単位に加えることができます。
特 別 活 動 等	LHR	新聞を活用した進路スクラップを行うことで、進路意識を高めています。
	学校行事	学校祭、防災・避難所開設訓練、クラスマッチ、なべ碗、百人一首大会やかまくら体験を通して、仲間や多くの人々と協力して取り組む喜びや達成感を味わいます。
	部活動	部活動を通して、自信を深め、仲間の大切さを知り、人と関わることの意義深さを実感することができます。
地 域 連 携 校 外 活 動	防災・避難所開設訓練	地域住民、横手市危機管理課、横手市消防署、JR横手駅、秋田大学横手分校、民間企業など多くの方々から協力をいただいております。生徒が主体的に運営できるよう取り組んでいます。
	ボランティア	横手市地域づくり推進課、県南NPOセンター、秋田大学横手分校等と協力して、生徒に様々なボランティアを紹介しています。